



☆熱中症にご注意を☆

近年の夏の猛暑により、熱中症患者が増加しています。県内でもすでに今年10名以上の方が病院に搬送されています。

熱中症が心配なのは真夏ではありません。梅雨時は20度台でも要注意です。かいた汗が蒸発されず体温調節が難しくなるからです。

高齢者や小児はさらに熱中症のリスクが高く、特に注意や見守り等の働きかけが必要となります。



●参考●環境省熱中症情報に関するホームページ等 熱中症情報

http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/

026 が県内で発生

6月6日に嶺北でO26（腸管出血性大腸菌感染症）が発生しました。原因となる細菌やウイルスを「つけない」「増やさない」「やっつける」という3つの予防法で感染症の発生を防ぎましょう。

- 菌を「つけない」ために手洗いが最重要です。生肉との箸の使い分けにも気を付けてください。
- 雑菌の多くは増殖が10℃以下では遅くなり、マイナス15℃以下では停止するため、食べ物についての菌を「増やさない」よう、低温で保存しましょう。
- ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅するので、肉や魚のほか野菜などもよく加熱（中心部を75℃で1分以上）して「やっつける」ことが大事です。

●参考●福井県感染症情報

<http://kansen.erc.pref.fukui.jp/>

ダメ。ゼッタイ。

2013年10月の調査結果によると脱法ドラッグを使ったことがあると答えたのは0.4%でおよそ40万人に上ることが分かりました。

たとえ違法な成分が含まれていなくても、本物の大麻の数倍から数百倍という強い作用を持つ成分が配合されているものもあります。

脱法ドラッグは「合法」と称していても危険な作用を持つドラッグです。

絶対に使用しないでください。

●参考●BLOGOS

<http://blogos.com/article/86901/>

福井県感染症発生動向調査速報

（第19週 H26年5月4日～第22週 H26年6月1日）

2類:結核 8名（1名）

4類:レジオネラ症 1名(0名)

5類:侵襲性肺炎球菌感染症 2名（0名）

アメーバ赤痢 2名（0名）

*（ ）内は若狭管内の発生

[発信者] 若狭健康福祉センター
地域保健課 宮下

TEL: 0770-52-1300 FAX: 0770-52-1058

メール: w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

※ご意見ご感想をお待ちしています。